

記載例(共同住宅の場合)

(表面)

建築基準法施行規則第一条の三第4項表一(四)項に基づく図書の標準書式

浄化槽調書

1	建築主住所氏名	住所、個人氏名、会社名等			
2	施設の名称 (未定の場合は記入不要)	(仮称)○○○○○○○○ 工事名称でも可			
3	建築場所	(地名地番)			
		(住居表示)			
4	建築物用途	共同住宅(注:複合用途の場合は、人槽算定対象の用途を記載)			
5	浄化槽の概要	製造又は設計業者	浄化槽メーカー名または設計者		
		名称(型式)・処理方式	例:フジクリーン PMⅡ-50D ・膜分離活性汚泥方式		
		型式認定番号	例:型 01CafOa1043321		
		処理対象人員及び算定根拠	例:45人 (算定式:延床面積 900㎡×0.05=45)		
		浄化槽人槽	50人槽	日平均汚水量	9㎡/日
		放流水の水質	BOD	20 mg/l	
全窒素	高度処理型でない場合は記入不要		mg/l		
全りん			mg/l		
6	放流先又は放流方法	①側溝 ②水路 ③その他(蒸発拡散方式)			
7	使用開始(予定)年月日	平成○○年○○月○○日			
8	浄化槽工事(予定)業者 (未定の場合は記入不要)	(氏名又は名称) ○○設備株式会社 (登録又は届出番号) 千葉県 知事(届-25)第 99999号			
9	備考	日平均汚水量及びBOD算定はJIS参考値を利用。 算定式:45人×200=9000l/日、45人×40÷9000l/日=0.2g/l			
※確認番号・年月日					

- 放流先又は放流方法の欄は該当する事項を○で囲み、③その他には①、②以外の放流先または放流先のない場合の処理方法を記入すること。
- 裏面に記載する浄化槽の関係資料を添付すること。
- 処理対象人員をJIS A 3302-2000のただし書きにより実情に合わせて算定した場合は、別途根拠資料を添付すること。
- ※欄には記入しないこと。